

(表紙)

都市防災事業計画(第1回変更)

愛知県犬山市

令和6年3月

(様式1)整備方針等

整備方針等

【防災まちづくりの現状及び課題】

本市は、愛知県最北端、木曽川を挟み岐阜県境に位置している。市内には、木曽川水系・庄内川水系の河川のほか、日本有数の貯水量を誇り平成27年度に「世界かんがい施設遺産」に登録された入鹿池をはじめ大小さまざまなため池がある。

南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されており、地震被害として家屋倒壊、火災などのほか、風水害被害としても、木曽川、郷瀬川、新郷瀬川の河川氾濫が想定され、市内全域には土砂災害(特別)警戒区域が点在しており土砂災害等も想定される。そのため、あらゆる災害に対応し、レジリエンスを向上させる防災対策を講じていく必要がある。

現在、本市では、「地震(南海トラフ地震)」、「水害(外水・内水・入鹿池の破堤)」、「土砂」の各災害におけるハザードマップを作成し、市内全戸への配布や、登録者への災害時情報伝達メール「あんしんメール」、町会長、土砂災害警戒区域住民や視覚障がいをお持ちの方を対象にした自動架電システム「あんしん電話」を導入するなど、ソフト対策面で市民の安全安心を図る事業を推進してきた。

年々発生危険性が高まってきている南海トラフ地震や、地球温暖化の影響で頻発かつ激甚化している豪雨災害の発生などを受け、今後は、発災時を想定したハード面の対策の推進が必要であるとの認識のもと、市民の安心安全を確保する観点から、発災時の被害想定がある地域を優先に、市民が避難する避難所・避難場所の新たな整備や既存機能の充実による激甚災害発生時の対策強化が急務となっている。

【整備方針】

本市で策定している「犬山市地域防災計画」に基づき、下記の整備方針により事業を推進する。

○避難所機能向上に向けた整備促進

犬山市東部に位置する善師野地区は、周辺を岐阜県から続く低山に囲まれた盆地状の土地に従来からの集落や田が点在しているほか、造成により3つの戸建住宅団地(「四季の丘」、「もえぎヶ丘」、「善師野台」、以下「団地」という。)が開発され、これらの団地で約1,300世帯、約4,100人が居住している。

一方、当該地区内には土砂災害(特別)警戒区域も点在しており、激甚災害発生時には相当数の地域住民の避難が想定されるが、最寄りの指定緊急避難場所及び指定避難所である善師野公民館は、滞在スペースが約129㎡であり、収容可能人数を129人と想定しているが、周辺には他の公共施設がないため、長期避難時は避難者数に対して避難スペースが不足することが懸念される。加えて、善師野公民館には、敷地が狭小であるため、市の防災備蓄倉庫が配置されておらず、避難所開設時には食糧等の備蓄品は他の倉庫から移送する必要がある。

また、善師野公民館に次いで近くに位置する避難所である城東小学校及び城東中学校は、収容可能人数は十分であるものの、団地からおよそ3～4kmの距離があるうえ、当該施設までの道路は歩道が整備されておらず、周辺は田畑が広がり夜間の照明状況は十分ではない。そんな中、発災直後、特に高齢者や子どもが徒歩で避難することは危険を伴うことから、団地から最も至近の避難所である善師野公民館における機能拡充を図ることが最善策であり、そのため、本公民館隣接の土地を取得し、防災倉庫の設置による備蓄品の配備スペースを確保する。

さらに、現在では避難所内における感染症対策も必要であり、滞在スペースで人同士が密にならない運用が求められているなか、団地のうち、「四季の丘」・「もえぎヶ丘」の各団地は、子育て世帯が多く、そのため乗用車の保有者も多いという特性を生かし、パーソナルスペースの確保ができ、かつ、避難所内での密を避ける分散避難としても有効な避難方法である「車中避難」を可能にするための車中避難スペースを配置する。そうすることで、家族構成やライフスタイルに応じて、柔軟かつ弾力的に対応できる避難所とし、地域住民が躊躇なく避難行動をとることができる避難所を確保する。

計画事業一覧

都道府県名	愛知県	市町村名	犬山市	計画期間	令和5年度 ~ 令和8年度	
担当部局名	都市整備部 都市計画課 計画・調整係	担当者	(正) 福江 仁希 (副) 服部 典幸 (副) 今枝 龍希	連絡先	TEL 0568-44-0330 FAX 0568-44-0366 e-mail 080100@city.inuyama.lg.jp	

【都市防災総合推進事業】

事業区分	事業主体	事業地区名	地区面積 (ha)	都市防災総合推進事業 における事業期間		国費率	交付対象事業費(予定)額		
				開始年度	終了年度		(参考)事業費	(参考)国費	
地区公共 施設等整備	事業計画					1/2			
	都市施設 (公園・緑地)					1/2 用地1/3			
	地区公共	犬山市	善師野 (避難地整備1箇所)	0.2	R5	R8	1/2 用地1/3	101.0 24.0 15.0	50.5 7.0 5.0
							1/2 用地1/3		
	防災まちづくり拠点 (直接) ※経過措置					1/2 用地1/3			
	防災まちづくり拠点 (間接) ※経過措置					補助1/2 全体1/3			
	地区緊急避難施設 (直接)	犬山市	善師野 (防災備蓄倉庫1箇所)	0.2	R5	R8	1/2 用地1/3	1.0	0.5
	地区緊急避難施設 (間接)						補助1/2 全体1/3		
合計							123.0 117.0	58.0 56.0	

注) 補助事業費について百万円単位。

注) 該当のないメニューについては行を削除する等して、なるべく一枚に収まるよう作成してください。

注) 複合施設整備については、設計完了前に補助対象範囲を協議すること。

(様式3)関連事業[都市防災上の課題解決に関連する事業]

事業区分	事業主体	事業地区名	事業規模(面積、延長、幅員等)	総事業費 (国費ベース)	事業期間		事業実施状況	重点密集 市街地の有無
					開始年度	終了年度		
街路事業								
都市公園事業								
市街地再開発事業								
土地区画整理事業								
効果促進事業								
その他(単独事業等)								

注) 総事業費について百万円単位。

注) 地域防災計画、地震対策緊急事業五箇年計画等を参照し、関連部局と調整の上作成。

(様式4)年度別事業計画1【参考】

上段:当初(変更前)、下段:変更後【百万円単位】

事業区分	事業主体	事業地区名	整備内容	重点密集市街地	国費率	交付対象事業費(予定)額 [国費ベース]								
						令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				計	
地区公共施設等整備	事業計画				1/2									
	都市施設 (公園・緑地)				1/2 用地1/3									
	地区公共	犬山市	善師野	避難地(広場) 0.2ha	×	1/2 用地1/3	2.5	7.0	6.5	41.5				57.5
														55.5
						1/2 用地1/3								
	防災まちづくり拠点 (直接) ※R2以降経過措置					1/2 用地1/3								
	防災まちづくり拠点 (間接) ※R2以降経過措置					補助1/2 全体1/3								
地区緊急避難施設 (直接)	犬山市	善師野	防災備蓄倉庫 1箇所	×	1/2 用地1/3				0.5				0.5	
地区緊急避難施設 (間接)					補助1/2 全体1/3									
合計						2.5	7.0	6.5	42.0				58.0	
							5.0						56.0	

(様式5)年度別事業計画【参考】

○補助額の内訳

[上段:当初(変更前)、下段:変更後]【百万円単位】

事業地区名	整備内容	整備の内訳	国費率	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				計
善師野	地区公共施設整備	避難地 (広場)	1/2	2.5		6.5	41.5				50.5
		用地	1/3		7 5.0						7.0 5.0
	地区緊急避難施設 (直接)	防災備蓄倉庫 1箇所	1/2				0.5				0.5
合計				2.5	7.0 5.0	6.5	42.0				58.0 56.0

○用地取得面積

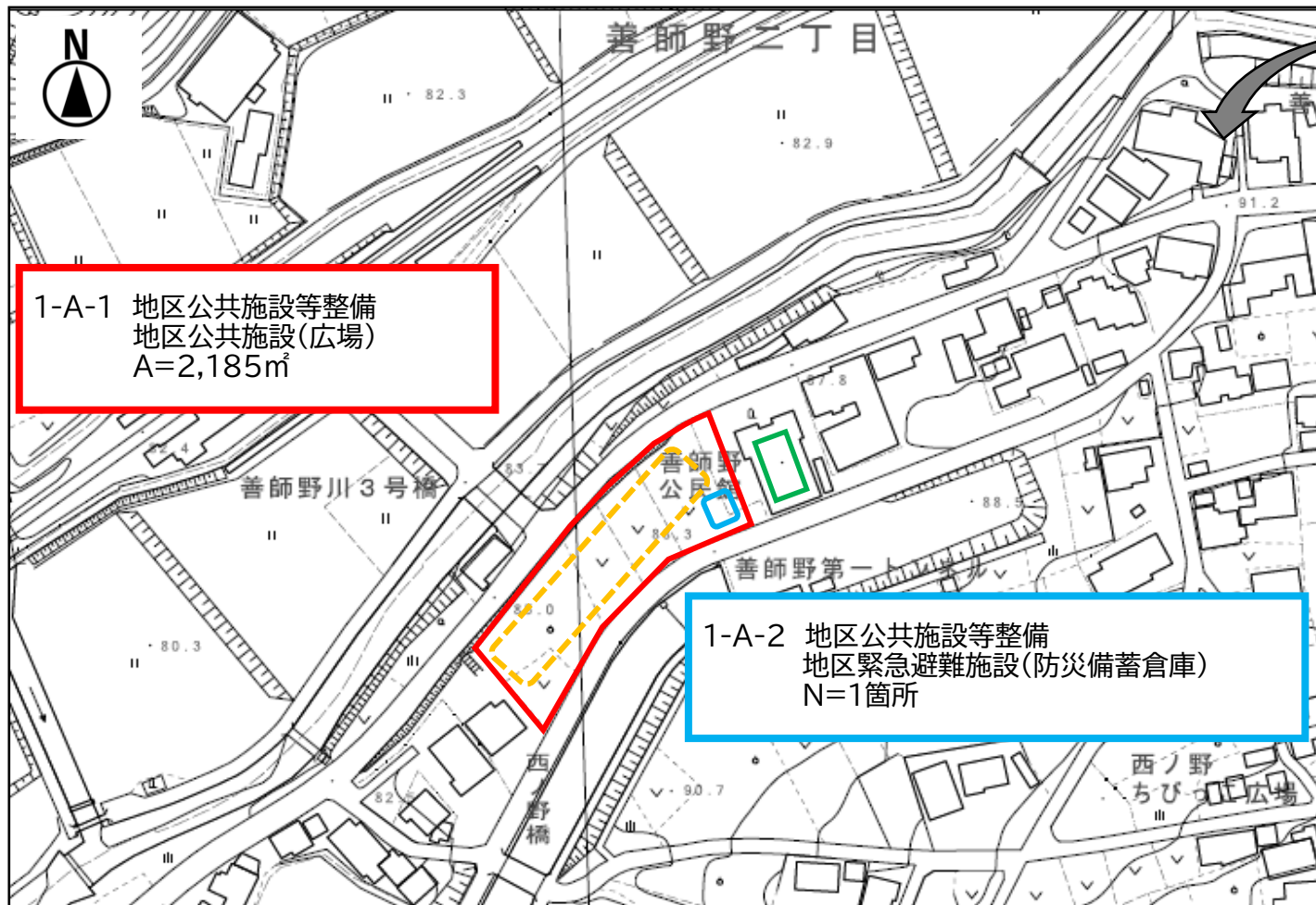
[上段:当初(変更前)、下段:変更後]【m2単位】

事業地区名	整備内容	整備の内訳	国費率	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				計
善師野	地区緊急避難施設整備	用地	1/3		2,185						2,185

(様式6) 現況図 等

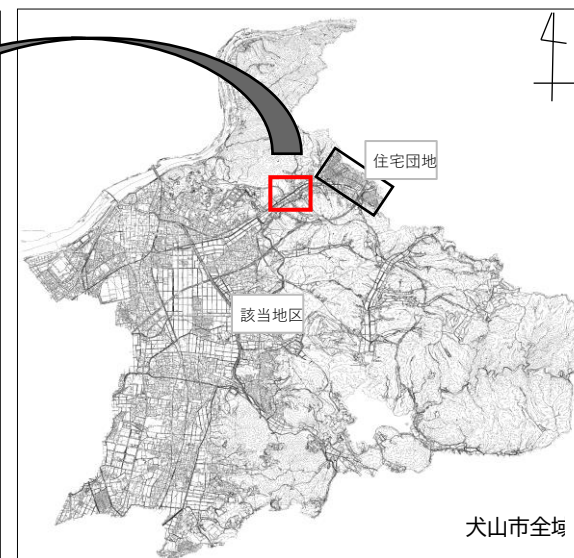
地区名	善師野地区(愛知県犬山市)	面積	0.2ha	区域	犬山市大字善師野字上紅屋
-----	---------------	----	-------	----	--------------

整備イメージ図



1-A-1 地区公共施設等整備
地区公共施設(広場)
A=2,185㎡

1-A-2 地区公共施設等整備
地区緊急避難施設(防災備蓄倉庫)
N=1箇所



防災備蓄倉庫



凡 例	
	広域避難所
	防災広場整備予定地 A=2,185㎡
	防災備蓄倉庫
	車中避難スペース

(様式6) 地区公共施設等整備(愛知県犬山市 避難困難者ゼロプログラム)

地区名	善師野地区(愛知県犬山市)	面積	0.2ha ^{※1}	避難困難者数	約252人	区域	犬山市大字善師野字上紅屋
-----	---------------	----	---------------------	--------	-------	----	--------------

1. 避難困難者の解消計画

	地区名	地区面積	避難困難者数 ^{※2}	解消目標年度		
				R6	R7	R8
1	善師野地区(愛知県犬山市)	0.2ha ^{※1}	約252人 (対象世帯数: 83) (必要駐車台数: 約104台)			約126人 (約42世帯)

※1…地区面積は、避難施設整備及び防災備蓄倉庫設置箇所の面積を記載。

※2…避難困難者数は、概要図の円で囲んである範囲内の土砂災害警戒区域内に家屋を有し居住している者及び世帯数。

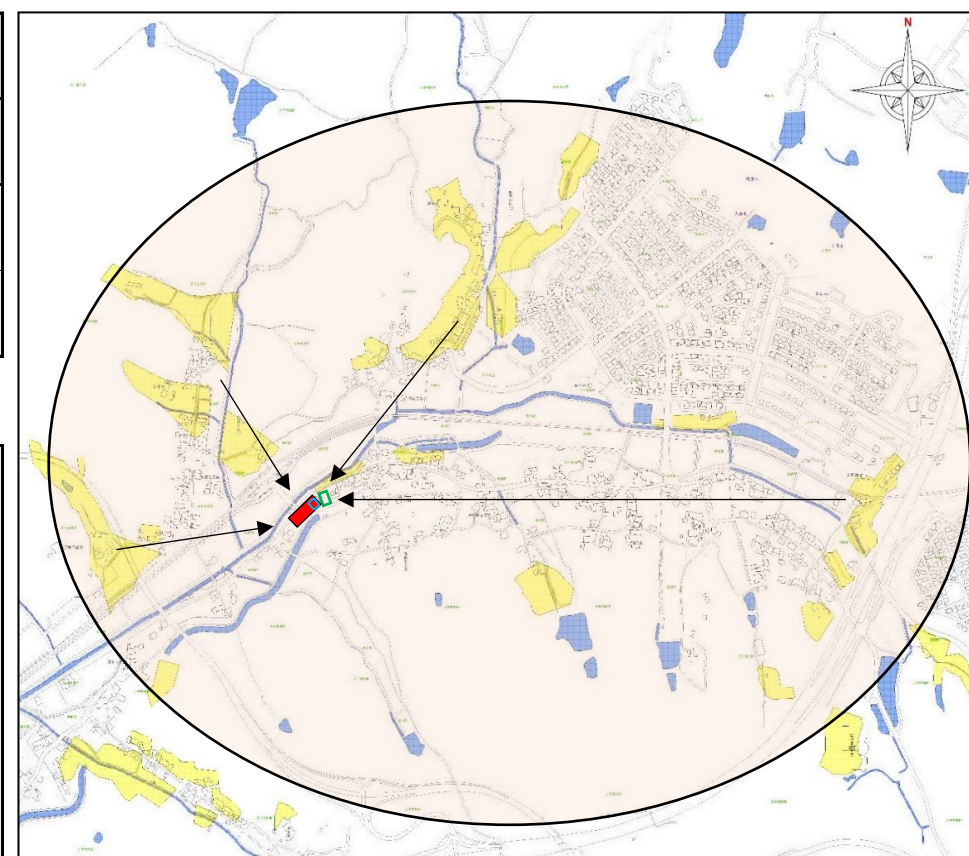
必要駐車台数は、83世帯×一人当たりの自動車保有台数を1.25台として計算し約104台を算出。

※3…解消目標年度は、計画期間末であるR8年度までに避難困難者の約半数の解消を目標とする。

2. 避難施設の整備計画

	地区名	スケジュール		
		R6	R7	R8
1-1	善師野地区(愛知県犬山市) (避難施設整備)	用地買収	整備工事	整備工事
1-2	善師野地区(愛知県犬山市) (防災備蓄倉庫)			設置

避難困難地域 概要図(善師野地区)



概要図凡例

- 避難施設整備箇所
- 防災備蓄倉庫設置予定箇所
- 広域避難所
- 土砂災害警戒区域
- 避難困難者数の分布範囲

避難施設整備及び防災備蓄倉庫を設置することにより、善師野地区内で土砂災害警戒区域内に居住する者のうち、約半数の126人(約40世帯、自動車台数換算約50台(一人当たりの自動車保有台数1.25台として計算))の受入れが可能となり、パーソナルスペースの確保ができ、かつ、避難所内での密を避ける分散避難としても有効な避難方法である「車中避難」を可能にする。